

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重心型児童デイearth太子		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	常時複数の看護師を配置し、呼吸器管理や吸引等を含む医療的ケアに対応できる体制を整えている。	看護委員会・療育リハ委員会等を設置し、専門職ごとに支援の振り返りや課題整理を行い、現場の声を吸い上げる仕組みを整えている。各専門職委員会の意見を管理者・運営役員に提言する仕組みを構築し、現場の意見が経営判断に反映される体制づくりを進めている。	委員会活動を通じて、多職種間の情報共有をさらに深化させ、個別支援計画の質向上や一人ひとりの気づき力アップに取り組んでいきたい。 それぞれの職員が会議等を行う機会をさらに増やしていきたいように取り組む
2	医療的ケア児の通所先として、一定時間安定してお預かりできる体制を整えており、ご家庭のレスパイト支援としても機能している。	呼吸器装着児の受け入れ人数に上限を設けるなど、安全確保を最優先とした運営を意識的に行っている。	職員の専門性向上のため、外部研修の機会を増やし、医療的ケア・療育技術・安全管理に関する知識のアップデートを図っていくことを検討している。
3	重症心身障害児の療育経験が5年以上あるベテラン保育士が入職し、療育の視点を他職種へ共有する取り組みを進めている。	これまでの安全性を追求した支援から、療育としての視点をより明確に位置づけられるよう看護師等他職種にも療育活動に参加してもらっている。	充実した療育を提供するために、さらに保育士の数を増やしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	看護師配置は充実している一方で、保育士の配置が一名となる日があるなど、療育専門職の体制には課題がある。	重症心身障害児への療育経験のある保育士が少なく、うまく採用が進んでいない。 ベテラン保育士の入職により療育の質は向上したが、事業所全体に療育の概念が完全に浸透しているとは言えず、発展途上の段階にある。	「安全確保」と「重症心身障害児への療育」を両立する重心型デイとしてのモデル構築を目指し、支援内容の検証と改善を継続していく。 ベテラン保育士を中心に、療育の概念を全職種へ共有する内部研修を継続するとともに、外部研修への参加を増やしていきたい。
2	情報発信が不足しており、家庭との連携やご意見の収集がしっかり行えていない。	情報発信を行う人材や時間の確保ができていない。 情報発信の手段や内容についての検討が進んでいない。 家庭との面談の機会が契約時しかない。	業務の棚卸しやさらなる人員確保を行い、情報発信の時間を作る、 情報発信の媒体や手段を共有し、複数の人員で発信ができるようにする。 定期的に家族様と面談する機会を設けたり、活動内容を見学できる機会を検討したい。
3	一般住宅を改装している物件のため、テナントの広さに課題がある。	入浴支援や送迎体制を整えるため、テナントに条件がある。太子町内に適したテナントが見つからない。	引き続き物件の調査を行ってきたい。